

利賀っ子だより



R4. 3. 4

○ 3月は「去る」



1月に朝の会で「1月は“行く” 2月は“逃げる” 3月は“去る”」と言われるくらいあっという間に過ぎるので、毎日を大切にしようと話しました。気が付いたら掲示板にある「卒業式までの日数」を表す数字が一桁になっていました。

今年度最後の委員会活動、クラブ活動、校外班集会等も終わり、校内の活動の中心が6年生から5年生に引き継がれていきます。

今日から6年生は卒業式の練習を始めました。下級生は、卒業生を送る会の準備や練習、卒業に向けての環境づくりに取り組んでいるところです。

卒業生だけでなく、在校生にとっても大切な節目である卒業式。全校児童、そして、教職員全員が、毎日を大切に精一杯の準備をしていきたいと思えます。



【教室の掲示物を作る5年生】

○ そろばんの学習



【興味津々でそろばんを扱う3年生】

3年生が算数科の時間に「そろばん」を使った学習を始めました。「私のひいおばあちゃんが使っていたと、聞いたことがある。」「どんな仕組みで動かすのかな。」など興味津々な様子で玉を動かしていました。

しばらく玉を動かして、すぐにそろばんの構造が「十進位取り記数法」と同じであることを見付けていました。

そろばんは、現在は3年生と4年生で学習することになっています。電卓で簡単に答えを出すことができる時代になってもそろばんを学習するのは、

日本の伝統文化を守るという意味もあると思えますが、そろばんの数え方を知ることにより、位取りの理解を深めることができることにもあると子供たちの姿を見て感じました。

たし算やひき算の筆算は下の桁から計算しますが、そろばんは上の桁から計算します。どちらで計算しても答えが同じになること等、違いやよさを感じ取ってほしいなと思えました。

(高田 公美)